

京田辺 3 D 計画

～ 2 位じゃだめなんです！～

日本大学 法学部 外山ゼミナール

1. 政策提言にあたっての問題定義

京田辺市の人口は現在増加している ベッドタウン化が進行している。

京田辺市における観光消費額は年々減少している。

京丹波市、宇治市などの近隣都市と比較すると京田辺市の結婚率は著しく低い。

京田辺市内の観光資源としては一休さんの認知度が高い。また、あまり知られてはいないが、京田辺市はかぐや姫に縁のある地である。

2. 私たちの政策提言

トレンドを用いた観光政策とそれによる経済活性化。その手段として婚活と聖地巡礼をキーワードに掲げる。

ここでいう【婚活】とはより良い社会に就職するために行う「就職活動」を略して「シューカツ」のもじりで、より良い結婚をするために活動を行うこと、という本来の意味と、そこに私たちは「交流活動」という意味を付け加えた。また、ここでいう聖地巡礼とは、著作物の舞台となった所をファンが聖地と呼び、実際に訪れるものである。

京田辺市における聖地巡礼先としては、一休さん関連の寺社とかぐや姫関連の寺社とする。そして、京田辺市で婚活を行う際にもこれらのスポットを巡るデートコース等を企画する。

3. 婚活と聖地巡礼マップ

独自の観光マップの作成

・ドッキン ラブクッキングコース

30～40年代を中心として一休と竹取物語が由来の地とされている場所聖地巡礼し、名産品を使った料理教室を行うことで男女の交流を深める。

・はじける青春アウトドアコース

テニス等のスポーツを通して若者を中心とした交流を深める機会に触れることができ、また一休弁当を、汗を流した仲間と共に食すことで一休さんにも触れることができる。

・We ♡ チェインコース

京田辺ゆかりの一休さんと、かぐや姫に関連する寺社を、京田辺が世界に誇る

(株) 椿本チエインの愛の鎖で結ぶことで、婚活と聖地巡礼の結びつきをより強くしたイベントに参加していくことができる。

・フォーリン・ラブコース

国際化を目指す動きに乗じて、主に海外からの観光客を国際競争力のある企業に招き、購買意欲を誘うことで、ダイレクトに経済活性化を実現できるコース。

・ほのぼのコース。

高齢者の方々を対象に、駅周辺の比較的歩きやすいコースを設定することで、積極的にこれを回ってもらい、生きがいの創出に役立てることができる。

4 . 本提言における市・企業・市民の役割と各事業の最終的な効果

本提言における市の役割としてイベントの企画・立案を行い、そこに協賛企業などを集い、市民に対してはボランティアを呼びかける。これにより、地元住民は地元の良さを再確認するとともに、婚活に参加し、結婚に至ったカップルは市により深い愛着をもつ。このように、三者が協働することにより、地域の活性化と経済活性につながると考えられる。

5 . 結論

聖地巡礼のコースを用いて京田辺に親しみをもち市民のアイデンティティを高め、さらにただのベッドタウンではない、新たな観光地としてのまちづくりを目指す。

資料

・婚活&聖地巡礼コース例



・ We♡チエインコース

一休寺 観音寺 舞妓の茶本舗
朱智神社 椿本チエイン 大住駅

・ ほのぼのコース。

大住駅 月読神社 北部住民センター
— 桜並木 大住駅